

# HAPS 実用化に向けた次世代電池の 技術要件と開発動向

～ソフトバンクの電池軽量化と長期航行への挑戦～

— 講師 —

ソフトバンク株式会社

プロダクト R&D 本部 ユビキタスネットワーク企画統括部

次世代 NTN 開発部 エネルギーソリューション開発課 課長 高柳 良基 氏

日時 2026年4月17日(金) 午後1時～3時  
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)  
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

## [重点講義内容]

HAPS (High Altitude Platform Station) は成層圏を長期間飛行する無人航空機であり、通年運用を実現するためには高エネルギー密度と高信頼性を両立する電池技術が不可欠である。

本講演では、成層圏環境下で求められる電池の技術要件を整理するとともに、次世代電池の技術動向を概観する。さらに、セル特性評価、パック設計、材料開発の観点から現在の開発状況と主要な技術課題、実用化に向けた取り組みについて紹介する。

1. HAPS (High Altitude Platform Station) の概要
2. HAPS 向け電池に求められる技術要件
3. 次世代電池の概要
4. 次世代電池パックの開発状況
5. 次世代電池材料の開発状況
6. 質疑応答／名刺交換

※プログラムは最新動向を踏まえ変更する可能性があります。

## PROFILE 高柳 良基 (たかやなぎ よしき) 氏

2019年 ソフトバンク株式会社入社。HAPS (High Altitude Platform Station) 向け電池の開発・調達およびプロジェクトマネジメントを担当。電池メーカーとの戦略的連携や評価・改善を通じ、リチウム金属電池をはじめとする次世代電池のセルからパックまで一貫して推進。国家プロジェクトの推進や開発体制の整備にも携わり、先端電池技術の社会実装と早期実用化を目指している。

